

<事業名> 第2回ビオトープ八条まつり

団体名	八条コミュニティ
所在地	豊岡市九日市
代表者名	会長 佐野守男

事業内容	<p>八条地域の住民が7月1日（月）9時から12時の間ビオトープ八条一帯で</p> <p>①農業用水路でザリガニ釣りをした ②ビオトープ用の生き物調査をした ③コウノトリのことを勉強した ④ビオトープ田ができるまでの経緯をパネルにして説明した。</p>	
地域	豊岡市八条地区	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果 八条コミュニティ地域振興部としての大きな事業で、八条コミュニティが一丸となって取り組めたことでコミュニティ全体の今後の活動に大きく弾みをつける事業となった。</p> <p>②地域への効果 八条地区区長会をはじめ多くの地域団体から大きな支援を受け、ビオトープ八条を知っていただき自然を守ることの大切さを感じていただけた。</p>	
事業経過	年 月 日 H30. 5. 18 H30. 6. 8 H30. 6. 30 H30. 7. 1	企画会議（実施内容を確定する） 全体会議（詳細打ち合わせ） ビオトープ八条一帯で会場設営等の前日準備 ビオトープ八条まつり当日

協働の相手方	たじま農業協同組合からキッチンたじま等の施設や駐車場等をお借りすることができ、大きな支援をしていただいた。
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題 ビオトープ間の管理・運営にコミュニティがどのように関わっていくのかが今後の課題</p> <p>②地域の課題 今回も子供達の（特に小学校高学年）参加が少なかった。日頃からビオトープ八条を知ってもらおう努力が必要だと感じた。</p> <p>〈31年度以降の事業計画〉 今回はビオトープ八条での生き物が中心のまつりだったが、このまつりを継続しながら更に年間を通じてホテルの観賞やあやめ・かきつばた・きしょうぶ等をみていただける場を加えていきたいと考えている。</p>



30年7月1日



30年7月1日



30年7月1日



30年7月1日